

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 鴨生の里

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員一人ひとりが介護の在り方について理解し、日々の介護に取り組んでいるが、ホーム開設時に理想の介護を目指して職員達で作った理念を会議の中で取り上げ、職員一人ひとりが理念を意識して介護の実践に取り組んでいく。	時々ではホームの介護理念を出勤職員で唱和し、理念の意義を理解し、理念に沿った介護の実践が出来ているかを確認し、職員全員が、理念を常に意識して利用者本位の介護サービスの提供に取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の参加委員が固定化し、報告会が中心になっているので、新しい参加委員を増員し、ホームの運営や業務が、参加委員の協力を得て飛躍できるように取り組んでいく。	参加委員を、地域で活動している有識者や知見者、複数の民生委員、薬剤師、公民館館長等に要請し、ホームの運営に反映していただくだけではなく、参加委員にとっても、知識や情報を得る機会と捉え、委員一人ひとりが、参加することが楽しみになる運営推進会議に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。